

◆【ビュー機能】の紹介と解説

- 今回は、【ビュー機能】の紹介とご説明をお送りいたします。
- ビュー機能とは、一つの工程を複数の目線で見ると同時に工程'sへ搭載された標準機能です。
- **一つの工程表を、別々のグループサマリーで表示**する事が出来ます。すべて同じデータを参照しているため、データの不整合や容量の肥大化等が発生しません！！

Q：とりあえず使ってみたい（基本の使用方法をご紹介）

【ビュー機能とは】

ビューとは、一つのプロジェクトの状態を複数の側面（例えば、作業別⇔場所別⇔業者別 など）から確認するための表示形式の事です。

工程'sには、作業別、区分別（既定名称は、[区分1]～[区分4]）、資源別あわせて6つのビューが用意されています。

今回は、改めてこの【ビュー機能】の紹介と、具体的な使用方法の一例をお送りいたします

A. 手順を追って解説します！

Step.1 まずは空いているビューを選択し、画面を「区分1」ビューへ切り替えます。



工程'sメイン場面下部【ビューの選択】から、[区分1]（初期名称、変更可）を選択します。

初期状態の「区分ビュー」には、グループが何も存在していません。

グループの指定をしないバーは、その他ビューではすべて「未分類」へ配置されています。

サンプル工程表

[作業別]ビュー

[区分 1]ビュー

ビューの切替

開いたばかりの区分別ビューでは、グループ構造は未設定の状態（バーはすべて未分類エリアへ配置）です。

Step.2 グループ構造の作成

[区分 1]ビューに、作業別ビューとは違った**グループ構造**を作っていきます。

ここでは例として、

初期状態の「作業別ビュー」（=作業工程ごとに見たビュー）に対し、プロジェクトを**作業場所（工区）**ごとに**見るためのビュー**を作成します。

[区分 1]ビュー

[区分 1]ビューにはグループが無いので、ここで新しいグループを作ります。
例として、A～C工区のグループを作ります。

Step.3 別ビューでのグループへ、バーを配置する

作業別ビューへ戻り、それぞれの**タスク（バー）**が別のビューでどこに配置されているのか、**バー情報**から設定します。

[作業別]ビュー

バー情報

[バー情報]ダイアログで、変更する区分別ビューの名称（[区分 1]～[区分 4]）の右にある**[...]ボタン**をクリックします。

先ほど[区分 1]ビューで作っておいた**グループ構造ダイアログ**が表示されるので、**指定したいグループ名称**を選択し、[OK ボタン]をクリックします。

区分 1

先ほど[区分 1]ビューへ作ったグループ（A～C工区）が表示されます。

◆ Tips バー移動で直接配置する方法

[未分類]エリア

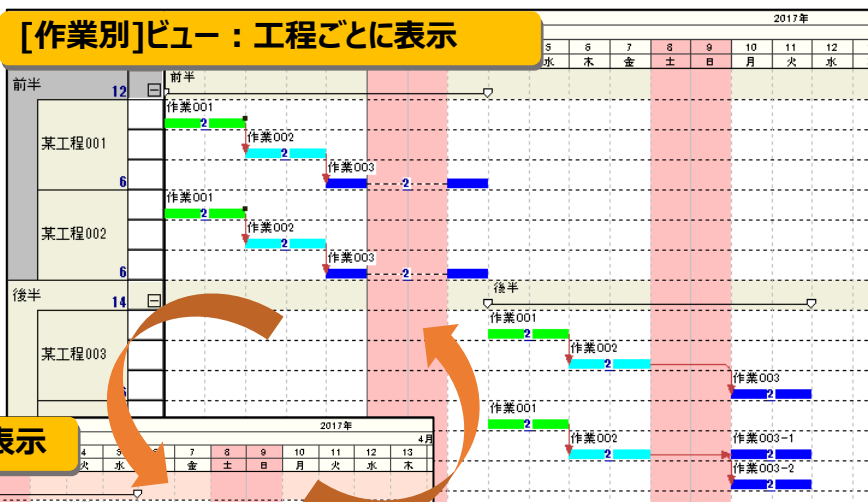
別ビューにて、バーを[未分類]エリアから該当グループの行へ**縦方向に移動**させるだけでもOKです。

Step.4 完了！！

[未分類]エリアからそれぞれのグループへ、バーを配置すればビュー設定は完了です。

これで、作業（工程）別と工区別の2つのビューが出来ました！

[作業別]ビュー：工程ごとに表示



[区分1]ビュー：工区ごとに表示



今回は例として、
 ・バー[作業 001]⇒[A 工区]グループへ配置
 ・バー[作業 002]⇒[B 工区]グループへ配置
 ・バー[作業 003]⇒[C 工区]グループへ配置
 としています。

◆Tips 用途に合わせてビュー名称を変える

ビュー名称は任意に変更できます。

メイン画面下部[ビューの選択]エリアを右クリックし、ショートカットメニュー「ビュー名称を設定」を選択します。

[変更後の名称]へ、用途に合った名称を入力します

※メニュー[編集]>[オプション]から[ビューの名称]タブを選択いただいても OK です。

◆次回予告

次回は、ビュー機能の活用方法その②をお送りします！